

大阪経済記者クラブ会員各位

(同時配布先：大阪市政記者クラブ、大阪科学・大学記者クラブ)

集中豪雨を予測せよ
「縦型オールインワン型 IoT 降雨計での集中豪雨の遠隔監視」の
実証実験を支援

【お問合せ先】

(チーム大阪の支援内容)

大阪商工会議所 産業部 産業・技術振興担当 門、西田

TEL：06-6944-6300

(大阪市 AIDOR エクスペリメンテーションの支援内容)

ソフト産業プラザ TEQS 下地、安永

TEL：06-6615-1000

- 大阪府、大阪市、大阪商工会議所（以下、「大商」）で構成する「実証事業推進チーム大阪」及び、大阪市の IoT・ロボットビジネス実証実験支援プログラム「AIDOR（アイドル）エクスペリメンテーション」は共同で、TSTジャパン株式会社（代表取締役＝古田 兼三、本社：大阪府中央区、以下「TSTジャパン」）が取り組む、**「縦型オールインワン型IoT降雨計での集中豪雨の遠隔監視」の実証実験プロジェクトを支援**する。
- 今回の実証実験は、2023年9月22日（金）より約3か月間、**大阪・咲州の複合商業施設「アジア太平洋トレードセンター」**（以下「ATC」）を皮切りに、**大阪市内を中心とする大阪府下複数エリア**で実施する。
- **ゲリラ豪雨や線状降水帯など、雨による災害**が社会課題となる中、同実証実験は**降水量の遠隔監視をテーマ**とし、降雨計の機能検証及び複数箇所設置による集中豪雨などの予測精度の検証を目的に実施する。

【実証実験概要】

＜実施名称＞

縦型オールインワン型 IoT 降雨計での集中豪雨の遠隔監視

＜機器の特徴＞

- ・ 受水器（パイプ）にたまった雨水の量から降水量を超音波センサーで計測する。
- ・ 電源不要で簡単に設置でき、設置後の日常的なメンテナンスが不要。

＜実施内容＞

縦型オールインワン型 IoT 降雨計で2分おきに降雨量を計測し、計測データ5回分を10分おきにLPWA通信^{*}でクラウドに送信。3か月程度、計測する中で動作検証などを実施する。

当該機器の特徴である設置の簡便性を活かして、ATCでの実施を皮切りに、今後大阪市内を中心とする大阪府下数十カ所の施設で、降雨計を設置することをめざしており、複数箇所から面で観測することで、集中豪雨などの予測精度を向上させる気象データと

して活用できるかなどの検証を行う。

T S T ジャパンでは、実証実験の結果を踏まえて改良を重ねて、気象庁より降雨計の型式認定の取得をめざすとともに 2024 年度での実用化に向けて取り組みを進める。

※ L P W A 通信：低消費電力で長距離のデータ通信を可能とする無線通信技術。

<実施主体>

T S T ジャパン株式会社（代表取締役：古田 兼三）

所在地：大阪府中央区南本町 2-1-1

事業概要：I o T 機器の開発・販売を行うスペインの企業「TST Sistemas」の日本法人として 2020 年に設立。降雨計など I o T 機器の開発に取り組んでいる。

詳しくは T S T ジャパンのホームページをご参照。

URL：https://www.tst-jpn.com/wordpress/

<実施期間>

2023 年 9 月 22 日（金）から開始（3 か月程度の計測を予定）

<実施場所>

- ・アジア太平洋トレードセンター（A T C）（大阪府住之江区南港北 2-1-10）
- ・大阪市内を中心とする複数箇所

<検証項目>

- ・縦型オールインワン型 I o T 降雨計動作検証（計測、通信、自動排水機能）
- ・取り付け（設置）での課題出し
- ・運用での課題出し など

<機器及び設置例>



縦型オールインワン型 IoT 降雨計（拡大）



縦型オールインワン型 IoT 降雨計（設置）

(参考)

◆実証事業推進チーム大阪

大阪府、大阪市、大阪商工会議所は、「未来社会の実験場」をコンセプトとする2025年大阪・関西万博を見据えて、革新的な実証実験を行いやすい環境を整え、大阪で新しいビジネスを生み出す好循環を創り出し、「実証事業都市・大阪」を実現するため、「実証事業推進チーム大阪」を設置。

大阪商工会議所を窓口とし、大阪府・大阪市の関連施設や公共空間、賛同いただいた民間企業の工場や施設等をフィールドとして提供する支援を行っている。

URL:https://www.osaka.cci.or.jp/innovation/digital_transformation/osaka_demonstration_experiment/demo-experiment_how-to_proceed.html

◆大阪市 IoT・ロボットビジネス実証実験支援プログラム

「AIDOR エクスペリメンテーション」

大阪咲洲の複合商業施設「アジア太平洋トレードセンター（ATC）」と大阪舞洲のスポーツ施設を実証フィールドとして実施する、開発・改良に必要な実証実験の支援プログラムで、大阪市の中小企業支援施策の執行機関である公益財団法人大阪産業局が大阪市からの交付金による事業として実施するもの。「未来社会の実験場」をコンセプトとする万博に向けて、実証実験支援の取組を積み重ね、大阪における新たなビジネス創出に取り組んでおり、今後も引き続き、全国から実証実験を募集している。

詳しくは、「AIDOR エクスペリメンテーション」のホームページ (<https://teqs.jp/experimentation>) を確認。

なお同プログラムは、「5G等先端技術を活用したビジネス創出プロジェクト」の一部として、「地方創生応援税制（企業版ふるさと納税）」による寄附を活用、実施している。

詳しくは、大阪市ホームページ「5G等先端技術を活用したビジネス創出プロジェクト」 (<https://www.city.osaka.lg.jp/keizaisenryaku/page/0000522389.html>) をご参照。

以上